特集

夏休み！議会探検ツアーを開催

IN つくば市役所



令和８年７月26日（日）、つくば市議会主催の「夏休み！議会探検ツアー」を開催しました。

このツアーは、次世代を担う子どもたちに、市議会や市政について理解と関心を深めてもらうことを目的として、つくば市議会では初めて実施したものです。当日は、つくば市在住の小学４年生から中学生まで、32名の小中学生が参加しました。募集定員を超える応募があり、抽選により参加者を決定しました。

当日は、まず「つくば市議会クイズ」で市議会の仕組みについて学んだ後、少人数のチームに分かれて「議会潜入キーワードラリー」を行いました。議場や正副議長室、会派室、議会図書室など、普段はなかなか入ることのできない議会の舞台裏も探検しながら、キーワードを探して議会への理解を深めました。



少人数のチームに分かれて、議会潜入キーワードラリーへ出発！



つくば市議会クイズでは、議席に座り市議会について学びました。



プチこども議会カフェでは、少人数のチームで議員とおしゃべり♪



最後に、議長から修了証の進呈を行いました。



その後は、「プチこども議会カフェ」を実施しました。子どもたちは議員と少人数のグループで気軽におしゃべりし、学校や公園のことなど、日頃感じていることや考えていることについて意見を交わしました。議員も子どもたちの意見に耳を傾け、和気あいあいとした雰囲気の中で交流しました。

参加者アンケートでは「とても楽しかった」が7割を占め、「まあまあ楽しかった」を含めると9割以上と大好評でした。「議員とおしゃべりできて、思っていたより身近に感じた」「普段入れない場所に潜入できて、ワクワクした」といった感想も多く、子どもたちにとって特別な体験となったようです。今後も、子どもたちが市議会を知り、自分たちの暮らすまちについて考え、意見を伝えることができる機会を大切にしていきます。

【詳細は市議会ＨＰへ】

当日の様子や参加者の年齢構成、アンケート結果などの詳細は市議会ＨＰをご覧ください。

市議会 HP

決算審査って、何をしているの？

市の前年度の事業成果をチェックし、予算が適切に使われたのかを確認します

1 議会に決算案が提出される

2 予算決算委員会４分科会※で質疑を行う

※分科会については下記参照

3 予算決算委員会全体会で審査を行う

4 本会議で認定を諮る

提言を行うことで次年度の事業改善につなげます！

決算審査で集中審議事項を選び、

今まで提言してきたテーマはこちら！

総務文教分科会

学校教育や財政、行政運営などに関する事業を担当

- R6 … 部活動地域移行
- R7 … 地域防災力強化/児童生徒の芸術文化体験活動
- R8 … 外国人子供教育支援の推進/ハンズフリーチケッティング/こどもMaaS

福祉保健分科会

子育て支援や高齢者支援などに関する事業を担当

- R6 … 高齢者電動アシスト自転車等の購入費補助
- R7 … アフタースクール
- R8 … 児童発達支援センター

市民経済分科会

市民生活や経済活動などに関する事業を担当

- R6 … 地域交流センターの機能拡充
- R7 … ごみの減量の推進
- R8 … 市民協働の推進

都市建設分科会

まちづくりやインフラ整備などに関する事業を担当

- R6 … 道路・街路・河川等の整備・維持管理
- R7 … 防犯カメラの設置/公園整備
- R8 … 渋滞対策/道路・街路の維持管理

詳細はこちら！

令和8年定例会

9月定例会議 議案等議決結果一覧

←議案の審議状況 議決結果　←請願一覧　←意見書 決議一覧　★：賛否が分かれた議案など　議決日

認定第１号	★1	令和７年度つくば市一般会計歳入歳出決算認定について	認定(10/6)
認定第２号	★2	令和７年度つくば市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定(10/6)
認定第３号	★2	令和７年度つくば市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定(10/6)
認定第４号		令和７年度つくば市作岡財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認定(10/6)
認定第５号		令和７年度つくば市等公平委員会特別会計歳入歳出決算認定について	認定(10/6)
認定第６号	★3	令和７年度つくば市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定(10/6)
議案第21号	★4	令和７年度つくば市水道事業会計未処分利益剰余金処分及び決算認定について	原案可決及び認定(10/6)
議案第22号	★4	令和７年度つくば市下水道事業会計未処分利益剰余金処分及び決算認定について	原案可決及び認定(10/6)
議案第23号		令和８年度つくば市一般会計補正予算（第２号）	原案可決(10/6)
議案第24号		令和８年度つくば市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	原案可決(10/6)
議案第25号		令和８年度つくば市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	原案可決(10/6)
議案第26号		令和８年度つくば市等公平委員会特別会計補正予算（第１号）	原案可決(10/6)
議案第27号		令和８年度つくば市介護保険事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決(10/6)
議案第28号		令和８年度つくば市水道事業会計補正予算（第２号）	原案可決(10/6)
議案第29号		令和８年度つくば市下水道事業会計補正予算（第１号）	原案可決(10/6)
議案第30号		つくば市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(10/6)
議案第31号		つくば市監査委員条例の一部を改正する条例について	原案可決(9/2)
議案第32号		つくば市税条例の一部を改正する条例について	原案可決(10/6)
議案第33号		つくば市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(9/2)
議案第34号		つくば市立児童館及びつくば市立放課後児童室条例の一部を改正する条例について	原案可決(10/6)
議案第35号		つくば市福祉支援センター条例の一部を改正する条例について	原案可決(10/6)
議案第36号		つくば市水道事業及び下水道事業設置等条例の一部を改正する条例について	原案可決(9/2)
議案第37号		つくば市下水道条例の一部を改正する条例について	原案可決(10/6)
議案第38号		つくば市児童発達支援センター条例について	原案可決(10/6)
議案第39号		市道路線の認定について	原案可決(10/6)
議案第40号		市道路線の廃止について	原案可決(10/6)
議案第41号		財産の取得について	原案可決(10/6)
議案第42号		財産の取得について	原案可決(10/6)
議案第43号		財産の取得について	原案可決(10/6)
議案第44号		財産の取得について	原案可決(10/6)
議案第45号		工事請負契約の締結について	原案可決(10/6)
議案第46号		つくば市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意(10/6)
議案第47号		つくば市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意(10/6)
諮問第1号		公の施設を利用する権利に関する処分についての審査請求に係る諮問について	異議のない旨答申(10/1)
諮問第2号		人権擁護委員候補者の推薦について	適任(10/6)
諮問第3号		人権擁護委員候補者の推薦について	適任(10/6)
諮問第4号		人権擁護委員候補者の推薦について	適任(10/6)
諮問第5号		人権擁護委員候補者の推薦について	適任(10/6)
請願8第3号		教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	採択(10/6)
請願8第4号	★5	高エネ研南側用地におけるデータセンター開発について、つくば市による市民向け公開説明会の開催を求める請願	趣旨採択(10/6)
請願8第5号	★6	つくば市が、高エネ研南側用地のデータセンター・物流基地の計画を1年間凍結することを、グッドマンジャパン社に要求することに関する請願書	不採択(10/6)
意見書案第3号		教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書	原案可決(10/6)
意見書案第4号		大規模データセンターに関して実態に即した法整備等を求める意見書	原案可決(10/6)
意見書案第5号	★7	非核三原則の堅持を求める意見書	原案可決(10/6)
決議案第1号		グッドマンジャパン株式会社に対する説明会開催の要請及び継続的な情報発信を求める決議	原案可決(10/6)
決議案第2号	★8	つくば市大規模事業評価制度の見直しを求める決議	原案可決(10/6)
決議案第3号	★9	高エネ研南側用地の開発事業に関する市民向け説明会の開催及び継続的な協議を求める決議	否決(10/6)
決議案第4号	★10	大規模事業評価制度の実施基準等の見直しを求める決議	原案可決(10/6)
決議案第5号	★11	陸上競技場整備事業の事業規模の拡大等を踏まえ、市議会による精査の機会の確保を求める決議	否決(10/6)

★ 議員賛否一覧

賛否が分かれた議案など、各議員の判断は？

	つくばクラブ								Next つくば			Next つくば				つくば・市民ネットワーク				公明党つくば			縁	ワ	新	つ	日	創
	伊藤文弥	小村政文	黒田健祐議長	神谷大蔵	小久保貴史	五頭泰誠	木村清隆	塩田尚	田代優	市原琢己	樋口裕大	中村重雄	木村修寿	塚本洋二	飯岡宏之	川田青星	川村直子	あさのえくこ	小森谷さやか	梅沢尊信	篠内幸代	渡辺峰子	榊原アリーゼ	青木真矢	酒井泉	川久保皆実	山中真弓	高野文男
認定第1号 ★1	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
認定第2～3号 ★2	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
認定第6号 ★3	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第21～22号 ★4	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
請願8第4号（趣旨採択）★5	○	○	ー	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○
請願8第5号 ★6	×	×	ー	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×
意見書案第5号 ★7	○	○	ー	○	○	×	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決議案第2号 ★8	○	○	ー	○	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○
決議案第3号 ★9	×	×	ー	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×
決議案第4号 ★10	×	×	ー	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○
決議案第5号 ★11	×	×	ー	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×

※「○」は賛成、「×」は反対、「退」は退席。議長は可否同数の場合または特別多数議決の場合以外は表決に加わらない。
※議決日に欠席した議員　９月２日　小久保 貴史

※会派名（議席番号順）　緑＝緑粋会　ワ＝ワニナルつくば　新＝新・つくば民主主義の会
つ＝つくばチェンジチャレンジ　日＝日本共産党つくば　創＝創生クラブ



本会議の録画↓

令和8年9月定例会議は9月2日から10月6日まで開催され、
計49件の議案などについて慎重に審議を行いました。
議員の賛否が分かれた主な議案などの審議内容を紹介します。

認定第1号　令和7年度つくば市一般会計歳入歳出決算認定について　**認定**

令和7年度決算について、持続可能な都市実現のための必要施策が実施されたとして原案認定

【議案概要】

- 歳入総額：1,322億4,208万4,955円（前年度比7.8%増）
- 歳出総額：1,279億4,773万3,874円（前年度比9.1%増）

形式収支（歳入総額－歳出総額）	42億9,435万1,081円
うち翌年度へ繰り越すべき財源	16億3,592万5,000円
実質収支	26億5,842万6,081円

認定詳細→

討論録画→

反対の意見

経常収支比率が上がり、財政の硬直化などを理由に、次年度に新規事業を行うことは難しいとのことだが、税収は過去最高額であり、財政力指数も上がっており、財政が厳しいとは言い切れない。剰余金も約26億5,000万円あり、補正後も約5.5億円余り、それらが基金に積まれている。中学校給食費の無償化も行っておらず、市民要求に応える執行になっていないため、認定することに反対する。

賛成の意見

市税の増加、基金や市債の活用により、主要な施策として、保育、教育、福祉事業などを実施してきた。つくば市未来構想で掲げる持続可能な都市の実現に向けた必要施策の実施が認められる。物価高騰などの影響の中、多様な市民ニーズに積極的に対応してきたものと評価し、認定することに賛成する。

請願8第4号　高エネ研南側用地におけるデータセンター開発について、つくば市による市民向け公開説明会の開催を求める請願　**趣旨採択**

データセンター開発の住民説明に関する請願について 市の説明責任をめぐり賛否分かれ一票差で趣旨採択

【請願事項】

1 つくば市による市民向け公開説明会を開催すること

つくば市は、高エネ研南側用地におけるデータセンター等の開発について、つくば市民、周辺住民、周辺事業者及び土地所有者等が参加できる公開説明会を速やかに開催すること。説明会は、一方的な資料配付や説明のみではなく、市民からの質問を受け、市が直接回答することのできる対話形式とすること。

2 これまでの経緯及び市の判断について説明すること

公開説明会では、少なくとも以下の事項について、市が把握している事実及び市の認識を市民に分かりやすく説明すること。

(1) 高エネ研南側用地の利活用方針決定から現在に至るまでの経緯
(2) 土地売却及び事業者選定の経緯
(3) 用途地域変更を含む都市計画上の手続き及び開発許可に至る経緯
(4) 現在のデータセンター、防災拠点施設、物流施設等の計画内容及び整備状況
(5) 今後予定されている整備及び事業の見通し

3 環境及び生活環境への懸念について説明すること

公開説明会では、データセンターの整備及び稼働に伴う、
(1) 電力使用及び排熱
(2) 周辺気温への影響
(3) 騒音
(4) 非常用発電機及び排ガス等の大気環境への影響
(5) 冷却方式及び水利用
(6) 交通量及び周辺道路への影響
(7) その他、周辺の生活環境への影響
について、市が現在把握している内容、これまでに行った確認・評価及び今後の対応について説明すること。
市が現時点で把握又は評価していない事項については、そのことも含めて市民に明らかにすること。

4 グッドマンジャパン株式会社に対し、公開説明会への出席及び説明を求めること

つくば市は、事業主体であるグッドマンジャパン株式会社に対し、市が開催する公開説明会への出席を求め、施設の具体的な計画、環境対策、モニタリング、地域との共生に向けた取組等について、市民に直接説明し、質問に回答するよう要請すること。

5 今後も継続的な情報公開及び対話の機会を確保すること

今回の公開説明会を一度限りのものとせず、今後の計画の進捗や施設の稼働に応じて、必要な情報を市民へ公表するとともに、市民、行政及び事業者が継続的に情報共有及び意見交換を行う機会を確保すること。

趣旨採択に反対、採択に賛成の意見

日本データセンター協会の地域共生ガイドラインでは、事業者などに遵守事項を定め、周辺住人への丁寧な説明を求めているが、現状で納得する公開の説明がない。公有地売却の経緯などは市の説明範囲という答弁も委員会内であった。海外では住民合意が得られず計画撤回となった例もある。市長の答弁は事業者寄りとの声もあり、市は市民の不安に向き合い、一時的な税収増のために自然環境や住環境に影響を残すようなことがあってはならない。税収効果も限定的との指摘もある。市が責任ある説明を行うとともに、事業者による丁寧な説明会を市民が納得できるまで実施させることを求め、趣旨採択に反対、請願採択に賛成する。

趣旨採択に賛成の意見

市民の不安解消のために必要なのは、事業者自らが具体的な安全対策を示し、住民に丁寧に説明することであり、市の役割は、事業者に代わって説明会を主催することではなく、法令に基づき事業者を監督することにあると考える。冷却方式など詳細情報は事業者が持ち、市が十分に説明できる立場にはなく、技術的な懸念に対しては事業者が直接説明することが適切であり、一部の情報を基に市が説明することは、正確性を欠き、混乱を招くおそれがある。丁寧な説明の必要性は十分理解できるものであり、趣旨には賛同するが、説明の主体は事業者であるべきと考える。また、市は必要な情報発信を続けるとしている。よって、趣旨採択に賛成する。

趣旨採択に反対、採択に賛成の意見

①この用地は市の土地開発公社が売却した公有地で、売却や事業者選定の経緯などを説明できるのは市のみである。GX戦略地域に認定され、市の説明責任は重くなっている。②議会の提言では、周辺環境への影響を及ぼさないことを利活用の基本とし、議会と市民に説明し、理解を得ながら進めるべきとしている。③市は特別号の広報紙を全戸配布したが、市民はそれに質問できない。新たな疑問も生じており、現段階で現状を対話の形で示すことが重要である。④説明会で市民の疑問に答えることは、事業と地域の信頼関係に不可欠である。説明会は市の判断で開催でき、趣旨採択にとどめる理由もない。以上により、趣旨採択に反対し、採択に賛成する。

請願詳細→

討論録画→

Nextつくば



樋口 裕大（ひぐち ゆうだい）

陸上競技場の再評価について

（質問） 基本構想時の概算工事費について伺う。

（答弁） 約 22 億円である。

（質問） 大規模事業評価を実施する中で概算工事費が約 28 億円に増加した理由は。

（答弁） 大規模事業評価委員の指摘を踏まえ、セミナーハウス、道路拡幅、給排水設備に関わる費用を見込んだためである。

（質問） 約 28 億円の計画で大規模事業評価を受けた。その後陸上競技場基本計画は概算工事費が約 41 億となったが、その内容は。

（答弁） 基本構想および大規模事業評価の答申を踏まえ、より詳細に積算したところ、約 41 億円の概算工事費となった。主な変更点は、既存建物の全撤去、集会施設のある分棟の追加である。また、陸上競技者や障害者によるワークショップの意見に基づき、雷雨時の避難場所となる屋根付き施設やウオームアップ走路の設置、多機能トイレを増設した。メインスタンドは規模を縮小した。

（質問） 現時点の総工事費は。当初と比較し、倍増しているか。

（答弁） 総工事費は３カ年で約 57 億 8,000 万円を計上している。解体費の契約額は約 8 億 5,000 万円である。倍増している。

（質問） 大規模事業評価時から変更が生じている認識はあるか。

（答弁） 大幅な変更には該当しないと判断している。

（質問） 大きな変更ではない理由を市長に問う。

（答弁） 主な変更は詳細調査によるもので、要綱上該当しないと解釈している。一方、金額の増額に対して、大規模事業評価としてルールがないことは課題であり、協議していきたい。

ワニナルつくば



青木 真矢（あおき しんや）

ユースセンター設立に関して

（質問） 整備を進めているユースセンターにおいて、現在つくば市が描いている理念、ビジョンについて伺う。

（答弁） 若者が安心して過ごせる居場所、自分らしい未来を描ける場所であり、科学のまちつくばの強みを生かし、若者の好奇心と行動力を地域の力につなげる共創拠点となることを目指す。理念やビジョンは、当事者である若者の考えが重要であるため、実行委員会を設置し、目指すユースセンターについて議論するとともに、ワークショップで実行委員と希望した若者が対話を重ねながら、より明確にしていきたい。

（質問） 若い世代が「安心して活躍し、繋がれる場」として、市が期待する本センターの役割と効果について伺う。

（答弁） 安心できる居場所、企画力やコミュニケーション能力を育てる挑戦と成長の場、社会課題への取り組みなどを通じて社会とつながる場、若者と地域が連携して新たな価値を生み出す共創拠点と考えている。これにより、若者が安心できる居場所や挑戦できる場を得られ、活動が活性化し、若者と地域のつながりが広がり、さらに地域の発展につながることを期待している。

（提案） ①地域で活躍する「大人との出会い・伴走」システムの構築。②「周辺市街地」をフィールドとしたユース世代の活躍機会の創出。③企画から運営まで「真のユース参画」が持続する体制づくりを提案する。

【その他の質問事項】 つくば市におけるジオパークを活用した次世代を担う子どもたちの学習およびシビックプライドの醸成

つくばクラブ



伊藤 文弥（いとう ふみや）

ごみ減量で将来の財政負担を抑える

（質問） ごみの総量は横ばいの一方、処理経費は増え続け、焼却施設は設備更新の時期を迎えている。ごみ処理経費の今後の見込みや草木類・紙類の資源化の現状を確認した上で、市内で草木が資源化される形や、事業系燃やせるごみの約３割を占める資源化可能な紙類を減らす方法の検討を求めるが、市民も事業者もごみを減らす方向に歩んできた今、分けることが報われる仕組みづくりを含め、ごみの減量と資源化を市政の中でどう位置づけ、進めていくのか、市長に伺う。

（答弁） これまでのさまざまな働きかけや広報、リサイクルセンターの整備などにより、リサイクル率は改善してきたと考えている。その中で、事業者に我慢を強いるのではなく、行政が仕組みを整え、ハードルを下げることが不可欠であり、草木や紙類の資源化はその第一歩と考えている。また、事業者の資源化への挑戦のためには、メリットを示すことも合わせて必要であると考えている。そのような形で行政と事業者が一体となって環境への取り組みを行うことは、企業の社会的価値の向上や地域の豊かさにもつながる。公約の柱としてグリーンシフトを掲げているが、それはひたすら我慢をするというわけではなく、グリーンな活動が地域経済にプラスになるという考えでこの言葉を用いている。さまざまな分析をしっかり行い、活動を進めていきたい。

Nextつくば



木村 修寿（きむら しゅうじ）

近隣公園の整備について

（質問） 上河原崎・中西土地区画整理事業および島名・福田坪土地区画整理事業内の近隣公園の整備について伺う。

（答弁） 近隣公園の整備については、主に近隣の居住者の利用を目的としていることから、近隣住民の意見を伺いながら、特色ある公園の整備を目指している。上河原崎・中西地区内および島名・福田坪地区内には未整備の近隣公園予定地が４カ所ある。公園用地は、土地区画整理の事業主体である茨城県が一次造成を実施した上で、換地処分後、市に帰属される予定である。なお、上河原崎・中西地区内の２号近隣公園については、現在、基本計画策定業務に着手しており、残る３公園については、周辺の土地利用の進捗状況を勘案しながら、順次整備を行っていく。

（質問） 国の補助金などを活用して整備するのか伺う。

（答弁） 上河原崎・中西地区および島名・福田坪地区の土地区画整理事業に伴う近隣公園の整備に当たっては、市の負担を軽減するために、国庫補助を活用した整備を計画している。 また、減災対策として、茨城県からの受託事業により、公園内に雨水貯留浸透施設を整備する予定となっている。

（要望） この区画整理事業内には約１万人以上の方が住んでいる。そして、現在商業施設の建設も行われており、区画整理事業地内の西側には、産業用施設の計画も進められている。今後人口が増加し、子どもたちも増えると想定されるため、近隣公園の整備をお願いする。

【その他の質問事項】 児童館

つくばチェンジチャレンジ



川久保 皆実（かわくぼ みなみ）

市長公約事業の確実な推進を！

（質問） ①市長公約事業を計画通り実施するため今後必要になる予算は？②経常収支比率が高まる中、当該予算を確保するための対策は？

（答弁） ①ロードマップ記載事業費について、現時点で事業費算出困難な事業を除くと、令和８年度に約 118 億 8,000 万円、令和９年度に約 114 億 6,000 万円、令和 10 年度に約 103 億円を見込んでいる。②人件費抑制、市債発行抑制に加え、既存事業を見直し、必要施策に財源を重点的に配分する。並行して歳入増に取り組む必要があり、産業立地を推進し、財政基盤強化に努める。

（質問） ①既存事業の見直しの際の優先順位の決め方は？②市長公約事業の優先度は？

（答弁） ①法令や戦略プラン・個別計画での位置付け、事業対象、市民ニーズ、地域課題などを基に判断予定である。令和９年度当初予算概算要求にあわせ、担当課と連携して各事業の法令や各計画との整合を整理している。②市長公約事業のロードマップは、戦略プランおよび各個別計画と同様の優先度と考えている。

（要望） 市長公約事業には、全天候型のこどもの遊び場や、インクルーシブ遊具に溢れた公園の整備など、子育て環境を改善する事業も数多く含まれる。事業見直しによる市長公約事業の縮小や遅延が生じぬよう、確実な事業推進を強く要望する。

【その他の質問事項】 市施設における不審者対策、０～２歳児における障害児通所支援の利用者負担軽減と早期療育の推進、生成 AI の活用に伴うハルシネーション（誤情報生成）のリスクへの対策

公明党つくば



篠内 幸代（しのうち さちよ）

障害福祉の相談支援充実と人材確保

（質問） 障害児通所支援などにおいて、令和9年度以降は、児童発達支援や放課後等デイサービスの利用にも、相談支援専門員が作成する計画案が必要と示されていた。一方、相談支援専門員につながれず、サービスが利用できなかったとの声もある。相談支援専門員の十分な配置を始めとする相談支援体制の充実について伺う。①児童にも対応している相談支援専門員の配置状況と今後の体制方針②具体的な体制方針③相談支援専門員を確保していくための市の取り組み

（答弁） ①令和８年９月７日現在、53 人配置されている。令和８年度までに障害児通所支援を利用する児童に相談支援専門員をつけることを目標としたが、対象者増などにより実現が難しいため、年度ごとに相談支援利用の対象者を設定し、段階的に利用者を増やしていく。②①の内容を事業所などに周知した上で、令和９年度から年度ごとの対象者を、障害児が複数いる家庭や、就学が近い児童などとし、利用者を増やしていく。また、セルフプラン利用者に意向を調査し、希望者が相談支援を利用できる体制を整え、より多くの児童がより良い支援を受けられるようにしたい。③県の相談支援従事者初任者研修は年１回、受講定員 150 名と希望者が研修を受けにくい状況であり、今後、実施回数および定員増を求めるほか、引き続き、基幹相談支援センターで相談員からの相談を受けるなど、支援者支援を充実させ、負担軽減を図る。

【その他の質問事項】 市立幼稚園の今後の在り方、今後の区会の在り方、ムクドリ対策

一般質問

令和８年９月定例会議では、９月９日～11 日、14 日の計４日間にわたり、22 名の議員が一般質問を行いました。各議員の主な質問と答弁を要約して掲載します。





一般質問 ってなぁに？

議員が市長などの執行機関に対して、市政の課題について報告や説明を求めたり、提案などを行う場です。



全ての質問・答弁の内容はどこで見られるの？

各議員の一般質問の会議録と録画配信を市議会HPにてご覧いただけます。

※会議録は散会日の約2か月後に公開

Nextつくば



市原 琢己（いちはら たくみ）

つくば市の財政危機について

（質問） 以下伺う。①直近5年の市税収入および経常収支比率の推移②経常収支比率の全国平均、県内平均および類似団体平均との比較

（答弁） ①市税の直近5年の推移については、令和3年度は約478億円、令和4年度は約506億円、令和5年度は約512億円、令和6年度は約531億円、令和7年度は約568億円である。また、経常収支比率の推移については、令和3年度は89.6%、令和4年度は88.9%、令和5年度は92.8%、令和6年度は96.8%、令和7年度は99.2%である。②経常収支比率について他団体と比較できる直近の令和6年度で比較すると、つくば市の96.8%に対して、全国平均が93.8%、県内平均が94.2%、類似団体として施行時特例市の平均が94.6%である。

（意見） 毎年継続的に発生する経費が財源をほぼ全て占め、財政の弾力性が低下している。



【その他の質問事項】 高エネ研南側用地

日本共産党つくば



山中 真弓（やまなか まゆみ）

市民に寄り添うDCガイドラインを

（質問） 8月17～19日のDC事業者説明会は招待状持参者のみ参加可能で、配布地域や説明時間、質疑も不十分だった。これで市民不安に応えた説明会と判断するか。

（答弁） 説明会の方式にとやかく言うものではないが、違和感を感じたため、事業者の役員にも伝えたところである。これで説明が全て尽くされたというわけではなく、ガイドラインに示されているのは、地域の不安に寄り添い、正しい情報を伝えることである。不安をあおるのではなく、事実ベースで話をしていくことが大事であり、対話を継続することが重要だと考えているため、その点は事業者に伝えている。

（質問） 事業者による公開説明会に加え、土地を売却した市も説明会を行うべきと考えるが見解は。

（答弁） 事業者が事業として行うものであり、説明会は事業者が行うべきだと考えている。

（要望） 江東区ガイドラインでは、住民理解を得るため、事業者に、環境配慮、分かりやすい説明、責任と誠意ある対応を求めている。市も具体的数値を入れた協定締結と条例整備を早急に進めることを要望する。

江東区公式ホームページ「江東区大規模データセンター建設計画における話し合いガイドライン（区民向け）」

【その他の質問事項】 公立幼稚園および公立保育所、人間ドックおよび脳ドック受診時の助成金、市職員のコーチング研修、つくばウェルネスパークのプール利用料、国民健康保険税の均等割

Nextつくば



塚本 洋二（つかもと ようじ）

小中学校体育館などのエアコン設置

（質問） 市内小中学校の体育館や武道場などの施設へのエアコン設置について、昨年の令和7年6月定例会議でも一般質問を行った時に、答弁で「既存の学校で設置されている体育館はないが、現在新設工事を行っている小学校には設置し、その他の学校は令和7年度中に検討を進め方針を決定する」とのことだったが、現在の進捗状況および今後の方針を伺う。

（答弁） 市内小中学校の体育館や武道場などの施設への空調設備については、令和8年4月に開校したさくら小学校では、既に設置し、活用している。既存の小中学校などについては、令和8年度、リースにより全中学校14校、全義務教育学校4校および小学校1校の計19校に設置する。令和9年度は、リースおよび工事により、小学校31校に設置する予定である。

（質問） 災害時には避難所にもなるが、停電時の対応など、何か検討していることはあるのか伺う。

（答弁） 都市ガスの供給エリア内の学校においては、停電のときでも利用可能な電源自立型空調設備の導入についても検討しているところである。



緑粋会



榊原 アリーゼ（さかきばら）

17億円のたばこ税と分煙環境向上

（質問） 受動喫煙防止の観点から、適切な喫煙場所を確保することへの市の考えを伺う。

（答弁） 市内の喫煙所の設置状況については、市には受動喫煙の防止を総合的かつ効果的に進める責務があるため、市の公共施設に喫煙所は設置しておらず、今後も設置する予定はない。

（提案） まつりつくばでは、6カ所の喫煙所を約5,000人が利用する。喫煙者も市民の一員であり、受動喫煙防止と分煙は両立できる。市たばこ税が年間17億円以上に上ることも踏まえ、喫煙所を造り、分煙環境を整えることや、民間事業者への補助を提案する。



【その他の質問事項】 周辺市街地の魅力向上

公明党つくば



梅沢 尊信（うめざわ たかのぶ）

筑波山停電対策と樹木対策

（質問） 筑波山は市を代表する観光地である。観光施設や宿泊施設が立地しており、安定した電力供給が観光振興と市民生活に重要である。しかし、近年、倒木や樹木接触などによる停電が繰り返し発生している。民有地の樹木対策は所有者管理が基本だが、地域への影響を踏まえれば、市も関係機関と連携して予防対策を検討すべきだ。そこで、①停電の発生状況と原因の割合②停電による影響への認識③連携体制について伺う。

（答弁） ①東京電力パワーグリッドのHPで筑波山周辺地域として旧筑波東中学校区を検索したところ、過去2カ月間の停電は5分以上が15件、5分未満が9件であった。うち、倒木や樹木の接触などによるものは、5分以上が2件で約13.3%、5分未満が0件である。台風の影響を含めると、5分以上が6件で40%、5分未満が1件で約11.1%である。②重要な課題と認識している。ケーブルカー、ロープウエーの運休情報を把握し、SNSなどで周知している。運行会社は東京電力パワーグリッドと協定を締結し、長時間の運休に備えていると聞いている。③市管理の林道は、職員のパトロールや地域住民からの情報を基に現地確認し、危険性が高い場合は土地所有者に適正管理を求め、必要に応じて東京電力パワーグリッドへ情報提供している。

（質問） 危険木の伐採支援制度創設について伺う。

（答弁） 他自治体の制度を調査し、既存の制度に対応できるかどうかも含め、新たな補助制度について検討する。

【その他の質問事項】 おくやみ窓口の利用状況と利用促進

つくばクラブ



神谷 大蔵（かみや だいぞう）

家庭用水(井戸水・上水道)の現状

（質問） 上水道未整備地区である池田地区・洞下地区の一部で、家庭用水として使用している井戸水が枯渇してしまったことから、簡易水道や小規模水道など、地域で運営する水道組織がない上水道未整備地区において、個人に対する井戸掘削補助制度などの導入を要望するとともに、このエリアの今後の上水道整備の見通しを伺う。

（答弁） 池田・洞下地区を含む地域への上水道整備については、令和11年度をめどに、幹線管路の整備を進めている。この幹線管路の整備が完了した後、各地区の管路整備を順次行っていく予定である。

（要望） 幹線管路の整備後、順次各地への管路整備が進むよう要望する。



【その他の質問事項】 頻繁に発生する停電問題、墓地問題、中学校のスマートフォン持込

つくばクラブ



塩田 尚（しおた ひさし）

危機管理の在り方について

（質問） 令和8年7月に発生した熊本地震への市からの支援の内容と、その経験を踏まえた危機管理の方針について伺う。

（答弁） 日本赤十字社を通じて義援金を受け付けている。物的・人的支援は、被災自治体の混乱を防ぐため、県や市長会などを通じて具体的な要請に応じる方針であり、現時点でつくば市への要請はない。市では、これまで、被災地に対し職員派遣や物資提供の支援を行った経緯がある。これまでの支援経験で得た課題感も踏まえて、必要物資の計画的な備蓄、水源の整備、民間団体などとの災害協定の締結などの備えや、市民への啓発強化を進めている。今後も災害被害を最小限に抑えられるよう、各地における災害時に顕在化した新たな課題なども踏まえて取り組みを進める。

（質問） 特に車中泊が深刻な状態となっているが、やむを得ぬ理由で車中泊を余儀なくされている人達には、車中泊ができる施設を市としても整えておくべきと提言する。また、台風の影響による線状降水帯が多発しているが、上下水道の管理受託者が二次災害に遭っては大変である。災害発生に備え自衛隊との連携や協力関係をどのように結んでいくのか。

（答弁） 平時から関係を築くことで有事の連携が機能するという教訓を得ている。例えば、自衛官などの募集事務を市で担っていたり、まつりつくばでの出展により自衛隊への理解促進を進めたり、さまざまな手段でお互いの信頼関係を構築することが極めて重要だと考えており、その連携を今後も深めていきたいと考えている。

公明党つくば



渡辺 峰子（わたなべ みねこ）

周産期のグリーフケアの充実を

（質問） 流産・死産などを経験された方が、悲しみを一人で抱え孤立することなく、必要な時に支援につながることが重要である。①市の相談支援の現状と課題②医療機関との連携③職員の対応力向上④情報提供の取り組みを伺う。

（答弁） ①保健師による相談支援のほか、産後ケアや県の専門相談、子どもを亡くした親の集いなどを案内している。情報提供や周知の充実が課題である。②医療機関と連携し、保健師が面談や訪問などの支援を行っている。また、給付金を医療機関から対象者に案内いただき、申請時に市の保健師の相談対応を行っている。③外部研修や国の手引きを活用し、支援の質の向上に努めている。④新たに総合的な案内チラシを作成するとともに、相談窓口などの情報が届くように医療機関との連携体制を強化する。

（質問） グリーフケアの必要性と今後の支援の充実について市長の見解を伺う。

（答弁） グリーフケアは、悲しみに寄り添い、孤立を防ぐために極めて重要である。医療機関などとの連携や情報提供と併せて、民間の団体との連携を進め、居場所をつくることに加え、行政職員のスキルアップを図り、行政としても寄り添っていく。

（要望） 当事者や地域の支援者の声を生かした総合案内チラシの作成と、行政・医療機関・地域が連携し、一人ひとりに合った支援につながる体制の充実を求める。

【その他の質問事項】 大規模災害時における応援職員の受け入れ体制、地域包括支援センターの機能強化

つくば・市民ネットワーク



小森谷 さやか（こもりや）

AIとSNSのリスク啓発を

（質問）　児童らの思考力低下を招き、教師や同級生との交流を妨げるとして、ニューヨーク市の小中学校で生成AIの利用が 2026 年９月から１年間原則禁止となった他、ノルウェーやオーストラリアでも規制を始めている。つくばでは、AI 利用の注意点をどれだけ子どもと保護者に伝えられているか。

（答弁）　保護者に伝えるという意味では、現状の資料では十分ではないというのは認識している。つくばで詳細なガイドラインを作成してあり、それも公開しているが、十分に伝わっていない懸念もある。ただ、AIも使い方次第だと考えている。スクールAIという教育に特化したAIを有効に活用し、学びの力をつけていく形で考えていきたい。

（意見）　中国、シンガポールなど子どものインターネットアクセスを厳しく管理する動きが世界にある。依存を防ぎ、子どもの思考力や心と体の健康を守る取り組みをさらに進めるべき。



【その他の質問事項】　動物愛護に関連する施策、自校式給食

つくば・市民ネットワーク



川村 直子（かわむら なおこ）

放課後の居場所、地域差を無くして

（質問）　市は本年7月より「放課後の在り方検討会」を開始した。小学生の放課後事業の課題を整理するとのことだが、どんな意見があったか。

（答弁）　主に、学校施設の有効活用や、子どもの意見を聞く必要性などについての意見があった。

（質問）　私も賛同する。特に子どもの意見はしっかり聞いてほしいが、これから聞く予定はあるか?

（答弁）　子どもへのアンケート実施を検討している。次回以降の「放課後の在り方検討会」において、アンケートの実施や内容などを検討する予定である。

（要望）　児童クラブ以外の子について、児童館ならば無料のところがアフタースクールでは有料、地域差に疑問のため検討を求める。また TX 沿線で児童館などの居場所が無い地域では、学校図書室などの放課後開放を求める。



【その他の質問事項】　人権の視点からの、思春期の身体と心の悩み相談支援と、包括的性教育の推進

新・つくば民主主義の会



酒井 泉（さかい いずみ）

データセンターの排熱について

（質問）　データセンターの排熱問題で、ケンブリッジ大学の論文に関して、地表面の温度を測定しているので、実際の気温の上昇を示したものではないとしていたが、その理由を伺う。

（答弁）　論文中に示された結果は、気温ではなく地表面温度を測定したものであり、平均 2℃、最大 9℃の上昇をそのまま気温上昇として扱うのは適切ではない。また、研究対象には空冷式のデータセンターが多く、水冷方式を前提としたものではない。地表面温度の上昇が実際の気温にどの程度影響するのかを区別し、研究の前提条件も含めて正確に情報を伝え、議論すべきである。

（意見）　論文の数値は、昼夜や月ごとの平均をとり、ヒートアイランドの影響など周囲の熱的影響を差し引いたデータセンター排熱による地表面温度の上昇を示している。排熱は対流で伝わるものであり、環境への影響を深刻に捉えるべきである。



つくば・市民ネットワーク



川田 青星（かわだ あおる）

あらゆる災害に備えるために

（質問）　地震などで被災した際の、証明書についての受付窓口はどこか。また、郵送やオンラインでの申請も可能か。

（答弁）　罹災証明書の申請については、財務部にて受け付ける。また、郵送での申請も可能である。現在、オンライン申請は行っていない。今後は、パソコンやスマートフォンを利用した電子申請についても、先進事例を調査し、研究を進めていく。

（質問）　つくばの北東約 60km に位置する東海第二原発の事故に備え、甲状腺の内部被曝を予防する安定ヨウ素剤を備蓄および配布する方針はあるか。

（答弁）　原子力災害に備えた安定ヨウ素剤は、半径５km 内のＰＡＺ※1、半径 30km 内のＵＰＺ※2内の自治体が備蓄および配布を行うこととなっている。ＵＰＺ外の住民に対する備蓄は内閣府が行うこととされている。

（要望）幼いほど甲状腺被曝の影響が大きいため、子どもの分だけでも備蓄するべきと考える。医師会や薬剤師会と連携して、いざという時に安定ヨウ素剤を融通してもらうよう求める。

※1　PAZ：Precautionary Action Zone　原子力施設から概ね半径５ｋｍ圏内。放射性物質が放出される前の段階から予防的に避難等を行う。
※2　UPZ：Urgent Protective action planning Zone　PAZの外側の概ね半径30km圏内。段階的に屋内退避、避難、一時移転を行う。

【その他の質問事項】　データセンターが及ぼす環境影響とその低減

Nextつくば



飯岡 宏之（いいおか ひろゆき）

データセンターの水利用

（質問）　①１棟目のデータセンターの冷却方式と使用水量を市は把握しているか。②全面稼働時に必要となる水量と、工業用水の供給能力との関係をどう捉えているか。

（答弁）　①水冷方式で、使用水量については正確な水量を算出中であると事業者から確認している。②事業者から、２棟目以降の設計が未確定ではあるが、整備状況に合わせて段階的に供給が受けられるよう県と調整していると確認している。

（質問）　汚水の受入可能量に収まることを、どう確かめるのか。

（答弁）　今後、事業者において工業用水の使用量が確定すれば、排水量も示されるため、その時点で確認できる。

（意見）　使用水量が分からないまま工事は進んでいる。稼働前に水量を把握し、水源、使用水量、排水量、水質、渇水時の削減。数値と、報告と、公表を環境保全協定に明記することを求める。



つくば・市民ネットワーク



あさの えくこ

「強度行動障害」支援について

（質問）　つくば市における強度行動障害（強い不安やストレスを背景に、自傷、他害などに至り、特別な支援が必要）がある方への現在の支援の状況と課題について伺う。

（答弁）　令和7年度の実績については、施設入所支援 74 人、共同生活援助 28 人、生活介護 175 人、短期入所 46 人である。課題については、環境面や人材面の制約から、障害福祉サービスの受け入れが難しい場合がある。

（質問）　次期障害者プランには①強度行動障害の方の支援状況を定期的に把握すること②相談を諦めさせないこと、家族の孤立を減らすこと③複数の事業所で支援方法を共有する仕組みを構築すること④県の集中的支援加算事業を積極的に周知し、利用を促すことの記載を検討していただきたいがいかがか。

（答弁）　次期障害者プランに記載することについては、障害者計画の実施事業として、「受け入れ先での情報共有」と「従事者への研修」、議員からの意見を検討した上で、次回の障害者計画策定懇談会に諮っていく。

【その他の質問事項】　つくば市における公立幼稚園の在り方と公立認定こども園への考え方

つくばクラブ



木村 清隆（きむら きよたか）

上水道整備の取り組みについて

（質問）　上水道未整備地域の解消と老朽施設更新を計画的に進めている。その上水道整備に関して伺う。①未整備地域の整備方針および計画②整備時および整備完了地域の上水道加入に関わる費用③整備完了時の簡易水道組合のその後の在り方

（答弁）　①整備方針は令和５年度作成の管路整備実施計画に基づき整備を進めている。幹線管整備完了後、要望書をいただいている地区の実情を考慮しつつ、地区内の管路整備を順次行っていく。なお、区会からの要望に限らず個人からの要望書も受け付けている。宅地開発での水道管整備は開発事業者の費用で区域内の配水管整備を行い、整備完了後、開発事業者から無償譲渡を受け管理している。②切り替える際の給水装置工事費は工事の品質・工法など各工事事業者の経営判断と技術力に委ねられるため市は標準的な工事費用の算出や単価の設定はしていない。加入金減免制度は加入者を対象に１万 1000 円の減免を、飲用井戸などから切り替える方には８万 8000 円を上限に減免を行っている。上水道転換支援に関わる補助制度は飲用井戸などから切り替える方を対象に配水管に接続する水道メーターまでの工事費に対し３万円を上限に補助を行っている。③整備完了後の簡易水道は上水道整備の要望書を市に提出する際、上水道からの給水開始日に簡易水道組合廃止確認届が提出されているため簡易水道は廃止されると認識している。

（要望）　工事費用の高騰に対する助成金を強く要望する。

【その他の質問事項】　災害時（防災）に関する取り組み

Nextつくば



中村 重雄（なかむら しげお）

谷田部小学校建て替えについて

（質問）　谷田部小学校などの整備スケジュールを伺う。

（答弁）　令和8年度中に基本構想を策定し、その後、必要に応じて大規模事業評価を実施する予定だが、児童数の急激な増加に伴う教室不足に対応するため、先行して令和8年度および令和9年度でリースにより増築校舎を建設する予定である。

（質問）　リース契約の校舎がグラウンドのほぼ中央に建設され、体育や運動会への影響が懸念されるが市の見解を伺う。

（答弁）　数年間使用できるグラウンドは少なくなるので、学校と相談し、工夫したい。例えば、リース校舎内への低学年の軽運動スペースの整備や、近接する谷田部総合体育館や谷田部多目的広場などの活用も、関係各課などと協議、調整を進めている。できる限り諸活動を滞りなく実施できるよう対応を考えていく。

（質問）　複合施設の体育館は学校での利用と市民利用はどのように計画しているのか伺う。

（答弁）　複合した場合、学校利用と市民利用がそれぞれ適切に行えるよう基本構想の中で検討していく予定である。また、学校の市民開放というのも当然検討していく必要があると考えており、これについても基本構想の中で考えていく。

（要望）　運動会などで校外施設を利用する計画があるようだが、安全には十分配慮してほしい。また、複合施設での学校利用と市民利用のすみ分けについても配慮をお願いする。

【その他の質問事項】　大規模事業評価

総務文教委員会

期日　令和8年7月14日～16日
場所　東京都中央区、大阪府四條畷市
静岡県浜松市
内容　東京都中央区では、「本の森ちゅうおう」を視察した。令和4年開設の、図書館や郷土資料館などから成る複合施設であり、多目的ホールやカフェを併設している。指定管理者制度や業務委託により民間の知見を活用しており、戦前資料やデジタル化された歴史的資料が展示されていた。静けさを希望する人と賑わいを求める利用者のニーズ両立や地域イベントのニーズ把握を課題としている。

四條畷市では、「電子投開票システムによる電子投票」について視察した。疑問票や無効票の解消などを目的として、令和6年12月の選挙において、全国で8年ぶりとなる電子投票を実施した。正確な選挙人意思の反映や職員負担の軽減が実現される一方、選挙費用の増加やデジタル機器に不慣れな層への周知が課題とのことである。

浜松市では、「外国人子供教育推進事業」について視察した。市内小中学校の多くに外国籍児童生徒が在籍しており、市教育委員会を中心に外国人子供教育に取り組んでいる。授業参加を目標とした日本語指導をはじめ、就学ガイダンスなどの幼少期支援や、ロールモデル講話など進路支援を実施している。

いずれの取り組みも大変参考になるものであった。今回の学びを生かし、つくば市の行政運営のさらなる発展に取り組んでいきたい。

中央区　本の森ちゅうおう





浜松市　教育委員会前

福祉保健委員会

期日　令和8年7月15日～17日
場所　千葉県市川市、広島県尾道市
広島県三原市
内容　市川市では、「こどもの発達支援」について視察した。同市にある「こども発達センター」は、子どもの身体的、精神的および社会的な発達を総合的に支援する施設であり、専門職による相談・療育体制に加え、相談記録などをデジタル化し、市長部局と教育局で共有することで、相談情報を就学後まで引き継ぐ、切れ目ない支援体制を構築している。

尾道市では、「子ども第三の居場所」について視察した。家庭環境に困難を抱える子どもへの学習・生活支援、地域の企業などと連携した体験機会の提供や、アプリを活用したフードパントリーによる食支援を実施している。また、保護者への相談支援を通じて生活の安定や孤立感の軽減を図るなど、安心して子育てができる環境を整えている。

三原市では、「児童館『ラフラフ』」について視察した。整備段階から中高生が参画し、開館時間の延長や学習室などの整備により、中高生の利用が約15倍に増加した。また、中高生ボランティアがイベントの企画・運営や学習支援などに携わるなど、子どもが主体的に活動し、多世代が交流する場となっている。

いずれも、つくば市の抱える課題に対して大変参考になるものであり、今後の市政発展に生かしていきたい。

市川市　こども発達センター





三原市　児童館「ラフラフ」

市民経済委員会

期日　令和8年7月7日～9日
場所　東京都豊島区、徳島県徳島市
愛媛県今治市
内容　豊島区では、「ごみ減量の取り組み」について視察した。都からの事業移管により、家庭ごみは区が、中間処理は23区清掃一部事務組合が担う体制となっている。容器包装および製品プラスチックの一括回収により、ごみ減量と資源循環を推進している。また、食品ロス削減アプリの活用や、多言語対応の分別アプリの普及などにより、外国籍住民を含めた適正排出の啓発にも取り組んでいる。

徳島市では「まちづくり協働プラザの取り組み」について視察した。多様な主体が連携する共創のまちづくりを推進し、「つくる・つなぐ・さえる」を軸に市民活動の支援を実施している。活動主体の高齢化を課題とし、特に若者の社会参画の量を増やすことで、次世代の地域人材育成に取り組んでいる。

今治市では、「有機農業振興の取り組み」について視察した。市民運動を契機とした「食料の安全性と安定供給体制を確立する都市宣言」の議決、「食と農のまちづくり条例」の制定がされ、学校給食で地元産特別栽培米100％使用、市民農園での食農教育などを通じ、有機農業の振興、地産地消の推進、食育の推進に取り組んでいる。

いずれも、今後の市政発展に当たり、大変参考になるものであった。

豊島区　区役所庁舎内





徳島市　まちづくり協働プラザ

都市建設委員会

期日　令和8年7月8日～10日
場所　福島県福島市、山形県山形市
宮城県石巻市
内容　福島市では、「人工衛星画像を用いた漏水リスク評価」について視察した。広範囲の水道管路の漏水リスクを、人工衛星画像とAI技術を用いて効率的に分析し、漏水の可能性が高い箇所を優先して現地調査の対象とするほか、老朽管更新計画の判断材料として活用している。今後は、調査件数の絞り込みによる維持管理費の縮減と、広域連携による持続可能な維持管理体制の構築を進めていく。

山形市では、「やまがたMaaS推進事業」について視察した。公共交通ネットワークを鉄道（大骨格）、幹線バス（中骨格）、その他のバスや相乗りタクシー（小骨格・神経系）に階層化し最適化を図った上で、専用アプリを用いた乗車券と飲食店などのクーポンのデジタルチケット化など、既存の公共交通サービスとICTなどの新技術を活用した新しい交通サービスの連携を進めている。

石巻市では、「水辺を活かした地域活性化事業」について視察した。震災復興を契機として、防災インフラ整備とにぎわい創出を一体化させた「かわまちづくり」を推進している。官民連携によるエリアマネジメントを実施し、地域資源を生かしたイベントなどの開催により、まちの魅力向上や交流人口の拡大を図っている。

いずれも、つくば市の市政運営の参考になるものであった。

福島市　議場





石巻市　かわまち交流センター（かわべい）前

令和8年度議会カフェを開催します！



みなさんのアイデアや思いが　市政へとつながっていきます！

市議会主催ワークショップ

議会カフェ

今回のテーマ

- 総務文教　足りてる?こどもの学習スペース
- 福祉保健　どう描く?人生100年時代の地域づくり
- 市民経済　私の推しつくば～場所・物・文化～
- 都市建設　語ろう公共交通の未来!

つくば市をより良いまちにするために、市民の皆さんと議員が気軽に語り合い、アイデアを出し合える場として、ワークショップ形式の「議会カフェ」を開催します。

●開催日時
2027年1月23日（土曜日）
13:30～16:30
※13:00受付開始

●会場
つくば市役所 コミュニティ棟1階

●参加費
無料

●定員
50名（申込先着順）

●申し込み期限
2027年1月14日（木曜日）まで

●申し込み方法
事前申し込み制です。
詳細は右の二次元コードからご覧ください。

市議会HP

動画配信中!
つくば市議会チャンネル

チャンネル登録お願いします

議会だよりはオンラインでもご覧いただけます（発行日に公開）
改善アイデアを募集中！

傍聴のご案内

つくば市議会の本会議と委員会は公開されており、誰でも傍聴することができます。議会の傍聴にぜひお越しください。

発言内容表示ディスプレイを傍聴席の右側前方に設置しています。
手話通訳・要約筆記をご希望の方は傍聴予定日の7日前までに議会局へお申し込みください。



傍聴についてのご相談は議会局にご連絡ください。
議会局 議会総務課
電話　029-883-1111（内線6111～6114）
FAX　029-868-7635

傍聴の案内

本会議は生中継・録画映像を、委員会は録画映像をご覧いただけます。

映像配信

12月定例会議スケジュール

日	月	火	水	木	金	土
11/22	23	24 議案上程 10:00～	25	26	27	28
29	30	12/1 一般質問 10:00～	2 一般質問 10:00～	3 一般質問 10:00～	4	5
6	7 一般質問 総括質疑 10:00～	8	9 委員会 総 福 9:00～	10 委員会 市 都 9:00～	11	12
13	14	15 予算決算委員会 10:00～	16	17	18 討論・採決 10:00～	19

総 総務文教　福 福祉保健　市 市民経済　都 都市建設
※開始時刻は変更される場合があります。市議会HPをご確認ください。

つくば市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例（案）に対するパブリックコメントを実施します。
■募集期間　令和8年11月20日（金）～12月14日（月）
※詳細は、市議会HPをご覧ください。

市議会HP

2年間ありがとうございました！

任期を終えるにあたり、振り返りのヒトコト



川久保皆実 委員長

最高のメンバーとともに、
議会だよりのリニューアルと
「夏休み！議会探検ツアー」の
立ち上げを実現できたことは、
私にとって一生の宝物です。
2年間本当にありがとうございました！



青木真矢 副委員長

副委員長を務めた2年間。
議会だよりリニューアルに自身の
クリエイティブな視点を活かせた
ことを嬉しく思います。今後も、
もっと身近でひらかれた
議会を目指します。



川田青星 委員

議会だよりのリニューアルや
議会探検ツアーなど、新たな
挑戦をすることができた
2年間でした！さらに
パワーアップする次期広報広聴
委員会にもご期待ください！



梅沢尊信 委員

議会だよりの一新に携わり、
自ら1ページを作成できたことが
自信になりました。議会探検ツ
アーでワクワクする子どもたち
とふれあえたことも、
広報広聴の原点です。



小村政文 委員

デザインや掲載内容について、
1号1号じっくり意見を交わし発刊
してきたつくば市議会だよりは、
まさに議会の見える化の大きな柱です！
次期委員会の活躍も引き続き
ご期待下さい！



中村重雄 委員

委員会活動を通して、市民の
皆様との交流と情報発信の
大切さを実感しました。
これからもつくば市議会を
よろしくお願いいたします。
ありがとうございました。



山中真弓 委員

リニューアル後、議会だよりが
みやすくなったと好評をいただき、
やりがいとともに喜びを感じます。
これまでの活動を活かして、
さらに身近な議会を
目指します！



小森谷さやか 委員

今期メンバーは企画立案、動画編集
やデザインに長けた委員が揃い踏み。
さらにそこへ遠慮のない様々な
意見が重なり、新たな挑戦を
たくさんすることが
できました！